

生活圏の流域にたまるプラスチックやペットボトルなどのごみ。これは職員が、環境の取り組みの指導に訪れたマレーシア・コタキナバルという都市で撮影したものです

6月は
環境月間
環境特集

さらば、

一人一人が減らす工夫を！

計り知れない“プラスチックごみ”の代償

私たちの身のまわり、さまざまなところに使われ、便利なプラスチックですが、近年、処理されずに海へ流れ出たプラスチックごみやマイクロプラスチックが世界的に問題となっています。

海を漂うマイクロプラスチックを植物プランクトンが食べ、それを魚が食べ、というように食物連鎖でどんどん蓄積されていくことが指摘されていて、人の体内からもそれらが見つかっているのだとか。日本近海のマイクロプラスチックの量は1平方キロあたり172万個で、世界平均の27倍という残念な調査結果もあります。

*マイクロプラスチック=処理されずに海に流れ込んだプラスチックが波や紫外線によって小さく分解され、直径5ミリ以下のプラスチック粒子になったもの。

海の生き物も泣いています

「プラスチックごみが海の生き物を傷つけたり、誤って飲み込み死に至る」。そんな悲しいニュースも目にします。このままだと2050年までに、魚の量を上回るプラスチックが海に流出するという想像もつかない予測がたてられています。

環境に多大な影響を及ぼしているプラスチックごみの現状に警鐘を鳴らすべく、国は、2019年5月にまとめた「資源循環戦略」の中で、2030年を目標として、レジ袋を含む使い捨てプラスチックごみを25%削減することを示しました。

今日からできることに取り組もう！

深刻さを増すこの現状を改善するためには、何より私たちの生活の中でプラスチックごみを発生させないことが大切です。私たちにできることは、どんなことがあるでしょうか。

「レジ袋」「マイバッグ」「マイボトル」「紙製ストロー」、最近よく聞くキーワードをちりばめて、今回は、プラスチックごみを減らすため、一人一人が取り組めることを紹介します。ぜひ参考にしてみてください！

【問い合わせ】環境都市推進課 ☎(0800)5708

プラスチックごみ

7月からレジ袋が 有料化されます

コンビニエンスストアやスーパーなどで、何気なくもらっているレジ袋。日本では年間約300億枚も使われていると言われています。

レジ袋を減らすプラスチックごみが減ることにもつながり、また、限りある資源の消費を抑えることにもなります。「明日から…」ではなく、今日からマイバッグで買い物を楽しみましょう！

レジ袋有料化 Q & A

Qレジ袋の価格や売り上げの使い道は決められているの？

A各お店が決めることになっていきます。ただし、1枚1円未満になるような価格設定は、有料化に当たらないとされています。

Q有料化の対象となるレジ袋はどんなもの？

A素材がプラスチックで、持ち手があり、商品を入れるもの、消費者が断れるものが対象です。素材が紙や布のもの、景品、試供品を入れるもの、福袋など袋が商品の一部となっているものは対象外です。



「対象外の袋」

- ①プラスチックフィルムが厚さが50マイクロメートル以上の袋

繰り返し使うことができ、プラスチック製買い物袋の過剰な使用を抑えられることから対象外です。

表示例「この袋は50マイクロメートル以上あり、繰り返し使用することが推奨されています」

- ②海洋環境下で分解する性質を持つ海洋生分解性プラスチックの配合率が100%の袋

表示例「この袋は○○○○機関によつて認証された、海洋生分解性プラスチックの配合率が100%の買い物袋です」

*生分解性プラスチックⅡ一般のプラスチックと同様に使用でき、使用後は微生物の働きによつて分解され、最終的には二酸化炭素と水にまで分解されるもの。

- ③バイオマス素材の配合率が25%以上の袋

表示例「この袋は○○○○機関によつて認証された、バイオマス素材の配合率が25%以上の買い物袋です」

*バイオマスプラスチックはトウモロコシなど、再生可能な生物由来の原料(バイオマス資源)を用いたもの。

マイバッグ持って レジ袋を 減らそう



特集は
次のページへ続くよ

秋田市ごみ減量キャラクター
エコアちゃん

実践！環境にやさしい取り組み

環境のためにマイバッグ
でのお買い物にご協力を

イオン東北(株)
マックスバリュ茨島店店長
岡本貢一さん



レジ袋有料化が法制化されたこともあり、今年3月の新会社設立のタイミングでレジ袋の無料配布を終了し、有料化に移行しました。店舗などで事前にお知らせしていたこともあり、特にトラブルなく移行できたと思います。今では約7割のかたにマイバッグで買い物をしていただいております。関心の高さを感じています。

レジ袋の使用を控え、マイバッグを利用することは、私たちが最も身近に取り組める環境活動だと思えます。お客さまのライフスタイルを変えることで、環境保全に対する意識を高めていくことに貢献できればと考えています。



レジ前のポスター